

令和2年2月17日

春の水不足への 対応について

長岡農業普及指導センター
稲作情報(号外)

電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

- 今冬は、記録的な暖冬少雪で、一部の地域では、代かきや田植えの春作業における水不足が懸念されます。
- 限られた用水を有効に活用し、適期田植えができるよう事前の準備をしましょう。

1 耕起までの対応

- (1) 用水不足が心配される地域では、用水の状況を把握して、取水・代かき開始時期や種・育苗の分散等について関係者で事前に検討する。
- (2) 用水路や畦畔の確認を行い、破損がある場合は、早めに修復する。
- (3) 畦塗りは丁寧に行い、畦畔の亀裂やねずみ穴等からの漏水防止を図る。

2 代かき・田植えの対応

- (1) 取水可能な時期になったら、事前の検討を踏まえて計画的に代かきを行い、田植えを開始する。ただし、品質確保の面から、田植え時期は、コシヒカリは5月10日以降、新之助は5月中旬とする。
- (2) 用水の状況によっては、ポンプを利用した用水の反復利用や水栓の止め忘れ防止など節水管理に努め、公平で効率的な用水管理を行う。
- (3) 田植え時期が大幅に遅れる場合は、できる限り中苗を移植する。

水を大切に。限られた用水を地域全体で有効に活用しましょう。